



第74回
定期中央大会議案書

Life is good!

2024年度

活動方針策定にあたり

Life is good!

中央執行委員長

大淵 光晴

2024年度は前年度に続き『Life is good!』をスローガンに掲げ、引き続き私たち組合員がヤナセで働くことを通じて「素晴らしい人生を歩めている」と思える状態を目指して活動いたします。

近年、ヤナセでは来店型営業体制への転換、休日の変更、人事制度改定、販売員手当支給規則の改定など多くの変化が起きています。社外へ目を向けるとコロナや戦争による経済への影響、自動車業界ではEV化の加速など、私たちを取り巻く環境の変化は多岐にわたります。過去を振り返ると、そもそも変化のない安定した時代などないと言っても過言ではないほどの変化を続けてきたものの、近年の変化のスピードは著しく速くなっています。これらの変化はこれからも続くため、変化を想像させ、新しい時代への期待を芽生えさせるとともに、先々どうなるか分からない将来への不安を多くの人にもたらしています。このように、働き方が目まぐるしく変化し日々の業務に追われる中であっても、組合員がヤナセで働いている今を心から大切だと思える、そして、ともに働く仲間の人生を自分のことのように考えられるような心豊かな日々を過ごしてほしいと願っています。

そのため、一日の中で多くの時間を過ごす職場での時間をもっと有意義で充実した時間にしたいと考え、今年度も「職場の話し合い活動」を中心とした自分たち自身で自分たちの職場を良くしていく活動を行ってまいります。「職場の話し合い活動」は、同じ職場で働く仲間全員を対象に自分たちの理想の職場とはどんな職場なのかを話し合い、自分たちの理想の職場を実現するために必要な行動を自分たちで決め自分たちで実行していく活動です。また、本活動の他、私たちの理想の職場を下支えすべく、労働環境や処遇を維持改善する活動や、日々の業務から少し離れた日常生活に役立つ知識と気づきを得るための活動に注力します。詳細は次頁以降に記載いたしますのでご一読ください。

労働組合の活動の全ては組合員一人ひとりの人生を豊かにするものをご理解いただき、今年度も組合活動へのご協力をご参画をお願い申し上げます。自分で選んだ「ヤナセで働く」ことを通じて、「素晴らしい人生を歩めている」と思える状態を目指しましょう！



～実りの多い豊かな人生を～

2024年度も組合員とその家族の人生を実りの多い豊かなものにできるようサポートします。組合員一人ひとりが自分自身の働き方や生き方を考えるきっかけをつくるために、以下3点の活動を2023年度からカタチを変え継続します。



職場の全員で自分たちの職場環境や働き方を話し合う活動

「自分にとっての理想の職場」を複数の人が具体的に言語化すると、それぞれが違う言葉で表現するのではないのでしょうか。同じ職場で働く仲間がそれぞれに思い描く理想の職場をそれぞれのやり方で実現させようとする、その職場の誰かにとっては理想の職場であり、違う誰かにとっては理想ではない職場になってしまいます。これを防ぐために、それぞれの理想の職場を仲間と共有する必要があります。職場の仲間話し合い、その職場の全員にとっての理想の職場をその職場の全員で言語化し、理想の職場の実現のために必要な行動を職場の全員で考え一人ひとりが実行すれば、この職場で働く全員にとっての理想の職場を実現できると考えます。

日々の生活の中で多くの時間を過ごす職場だからこそ、充実させることができれば人生をより豊かにできるのではないのでしょうか。

日常生活に役立つ知識と 気づきを得るための活動

プライベートの時間を充実させるために私生活で抱く不安を解消できる場の提供や、私生活や仕事に役立つセミナーを開催し、学びや気づきを得る機会をつくります。そのためには、外部講師を招くセミナーや講義だけではなく、ヤナセで働く組合役員が登壇者となり私たちにとって身近な話題を取り上げることも必要だと考えます。また、他労働組合との交流を通じて、社会を広く知り、ヤナセが担う社会的役割を知る機会をつくります。知識や考え方の幅が広がると、これまで見ていた景色が変わり人生が豊かになっていることに気づけるのではないのでしょうか。



組合員が安心して ヤナセで働き続けようと思える労働環境、 処遇を維持改善する活動



他社に劣らぬ様々な制度を備えているヤナセですが、組合員からは「制度の利用方法がわからない」や「制度を利用しづらい」と言った声が絶えません。そのため、今年度は各種制度の正しい理解と適正な運用により注力した活動を行います。

また、2023年度は世間の追い風もあり8年振りにベースアップが実現しました。引き続きヤナセの経営状況の変化や社会の変化などを考慮し、処遇の向上を目指します。